

岐阜県メディカルコントロール協議会の 救急救命士教育への取り組み

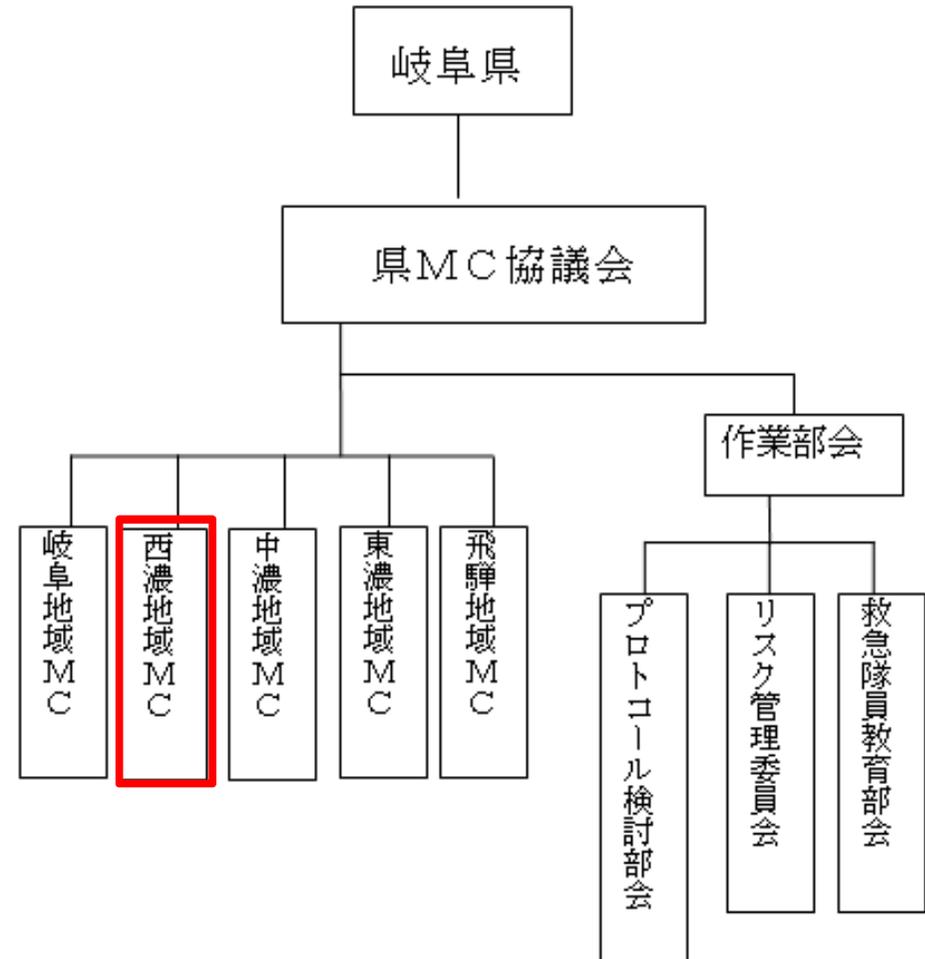


大垣市民病院救命救急センター
山口 均

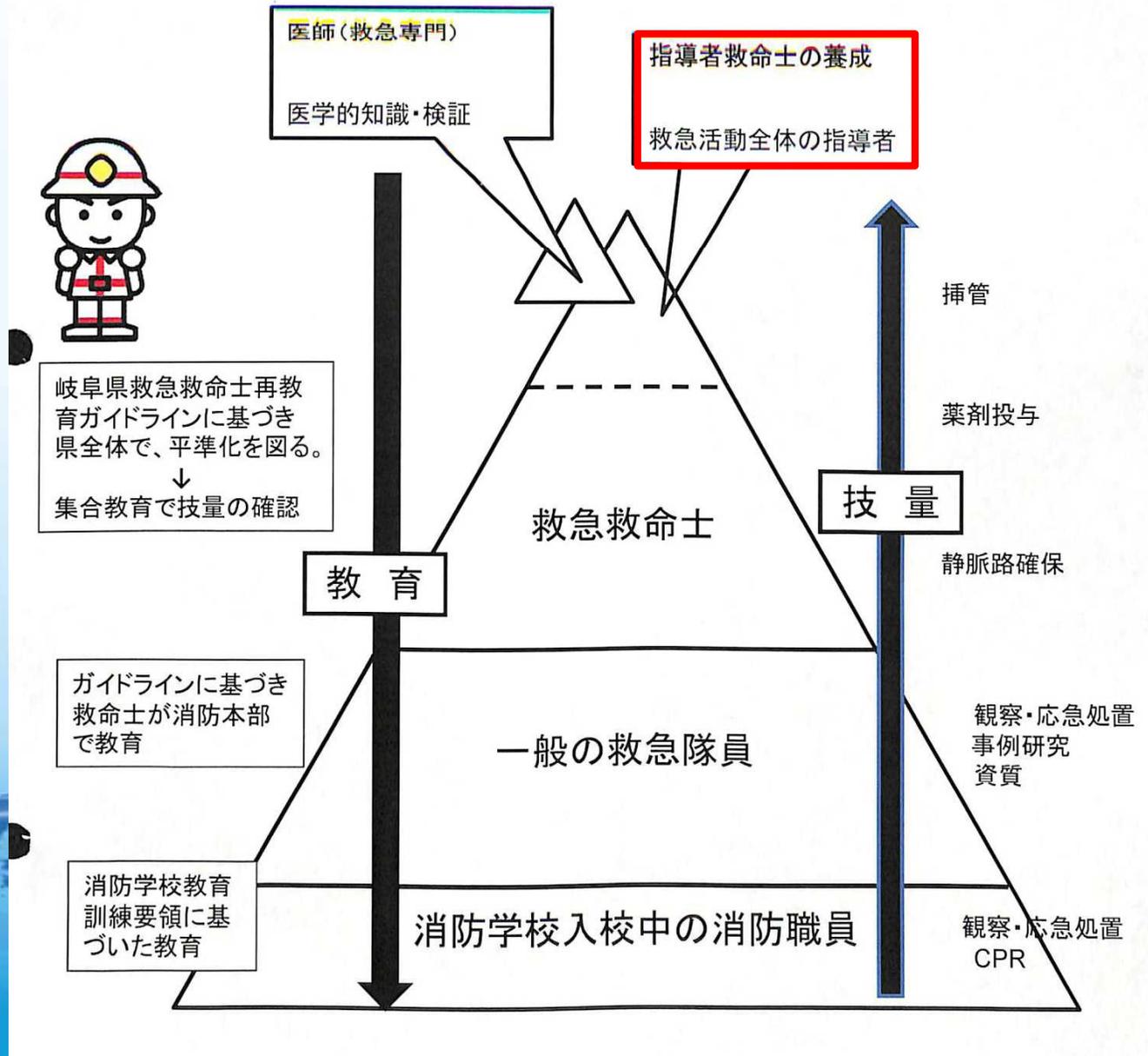
岐阜県メディカルコントロール(MC)協議会組織図



50km



岐阜県救急隊員の教育体系のイメージ図



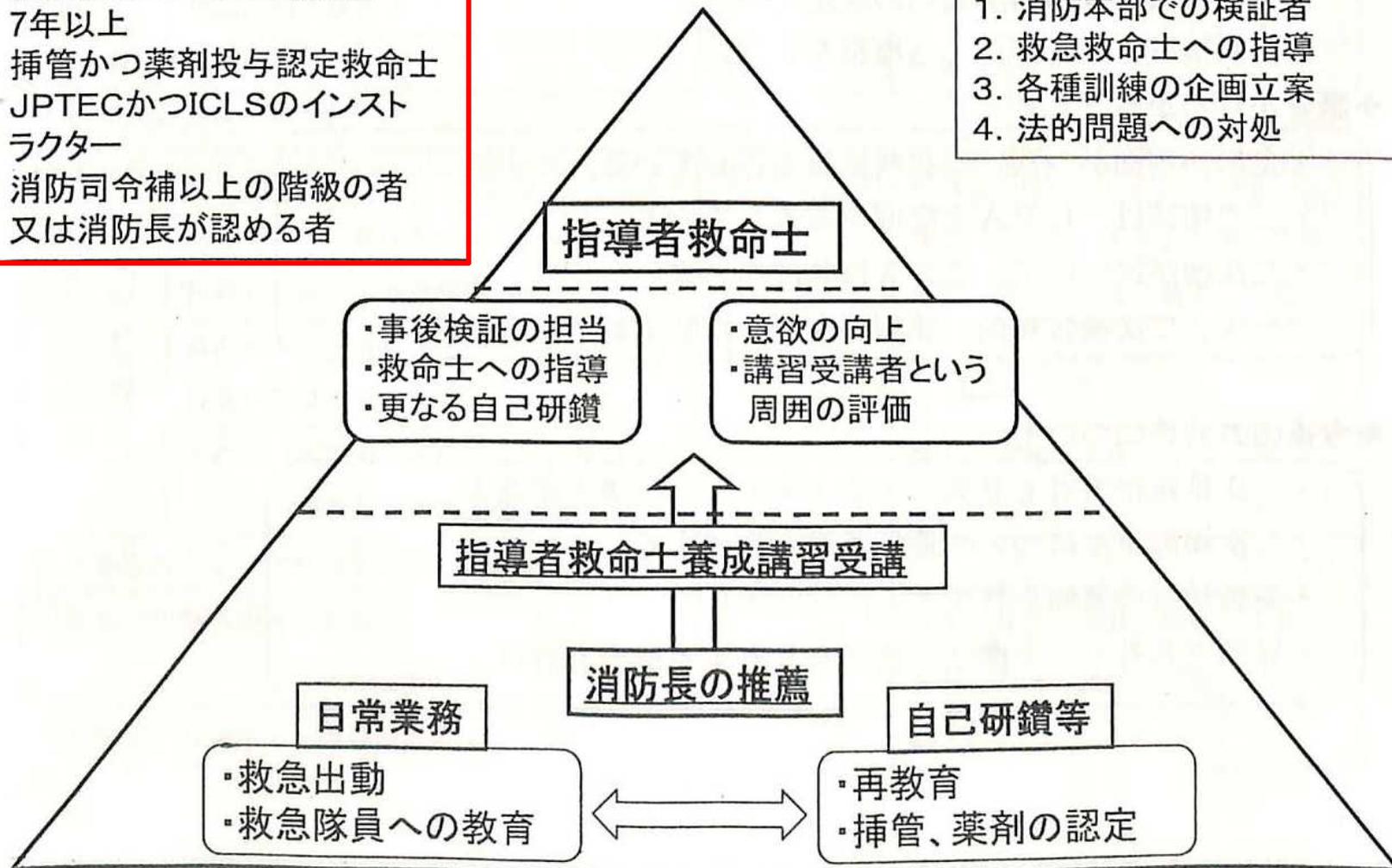
指導者救命士の養成について

*要件

1. 救急救命士としての活動が7年以上
2. 挿管かつ薬剤投与認定救命士
3. JPTECかつICLSのインストラクター
4. 消防司令補以上の階級の者又は消防長が認める者

*指導者救命士とは

1. 消防本部での検証者
2. 救急救命士への指導
3. 各種訓練の企画立案
4. 法的問題への対処

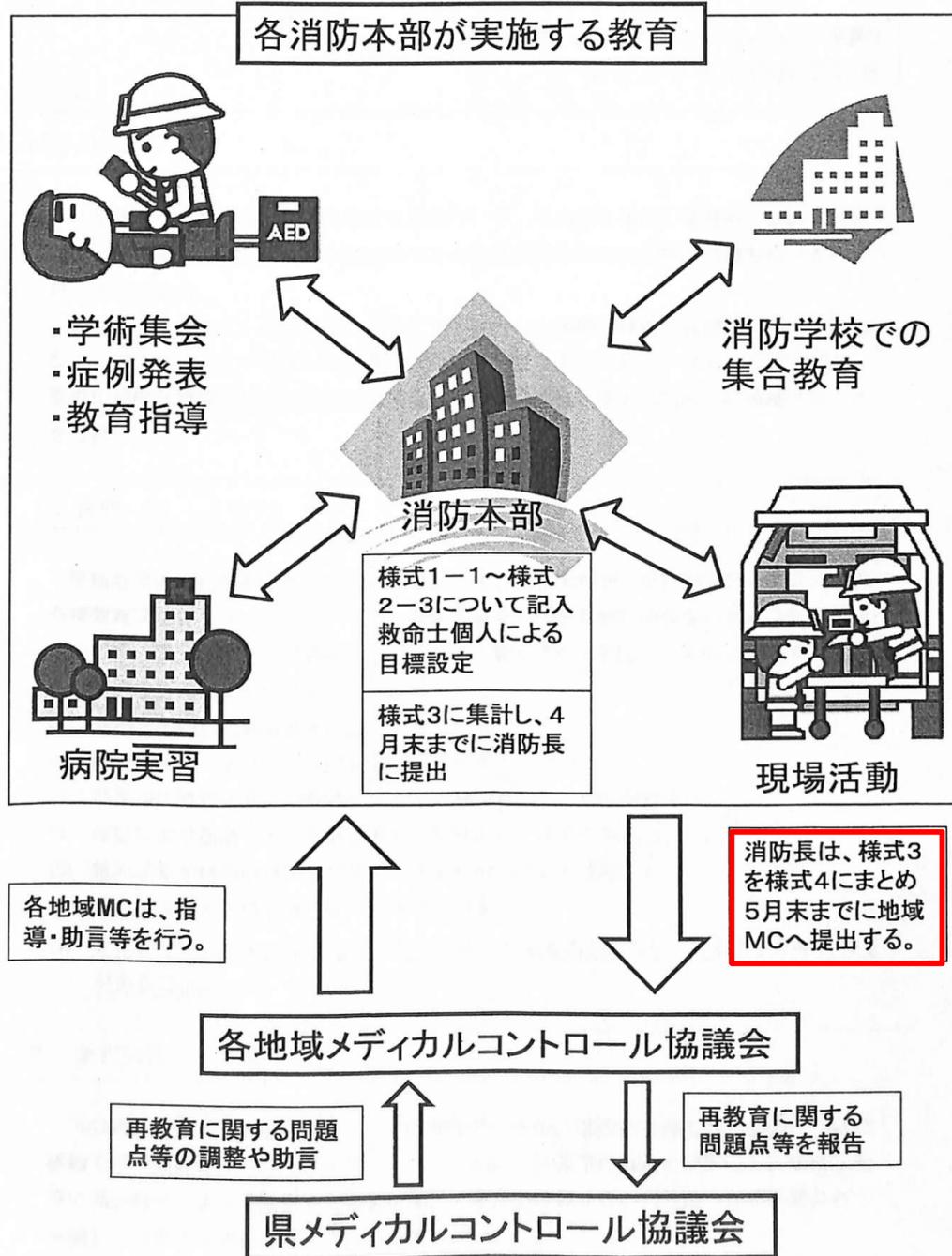


岐阜県指導者救命士養成カリキュラム

月日・ 曜	第1時限	第2時限		第3時限	第4時限	第5時限	第6時限	第7時限
	9:00～ 9:40	10:00～ 10:40	10:40～ 10:50	11:00～ 11:50	13:00～ 13:50	14:00～ 14:50	15:00～ 15:50	16:00～ 16:50
11/20 (水)	受付 まどい寮	入校式 ガイダンス	教育部会 小倉会長挨拶 第一教室	接遇要領 榑三越・伊勢丹部長 シニアマネージャー 福井 勝三		訓練企画 岐阜大学大学院医学系研究科 高次救命治療センター臨床講師 名知 祥		
11/21 (木)	教育技法 昭和女子大学大学院教授（心理学科長） 山崎 洋史				救急行政訴訟（※） 杏林大学総合政策学部 教授 橋本 雄太郎		DMAT 連携（※） 鳥取大学医学部救急・災害医 学分野 教授 本間 正人	
11/22 (金)	救命士の責務 消防庁消防大学校教務部 助教授 平川 正隆				危機管理広報 ㈱エンカツ社 代表取締役社長 宇於崎 裕美			修了式



岐阜県救急救命士の再教育ガイドラインのフロー図

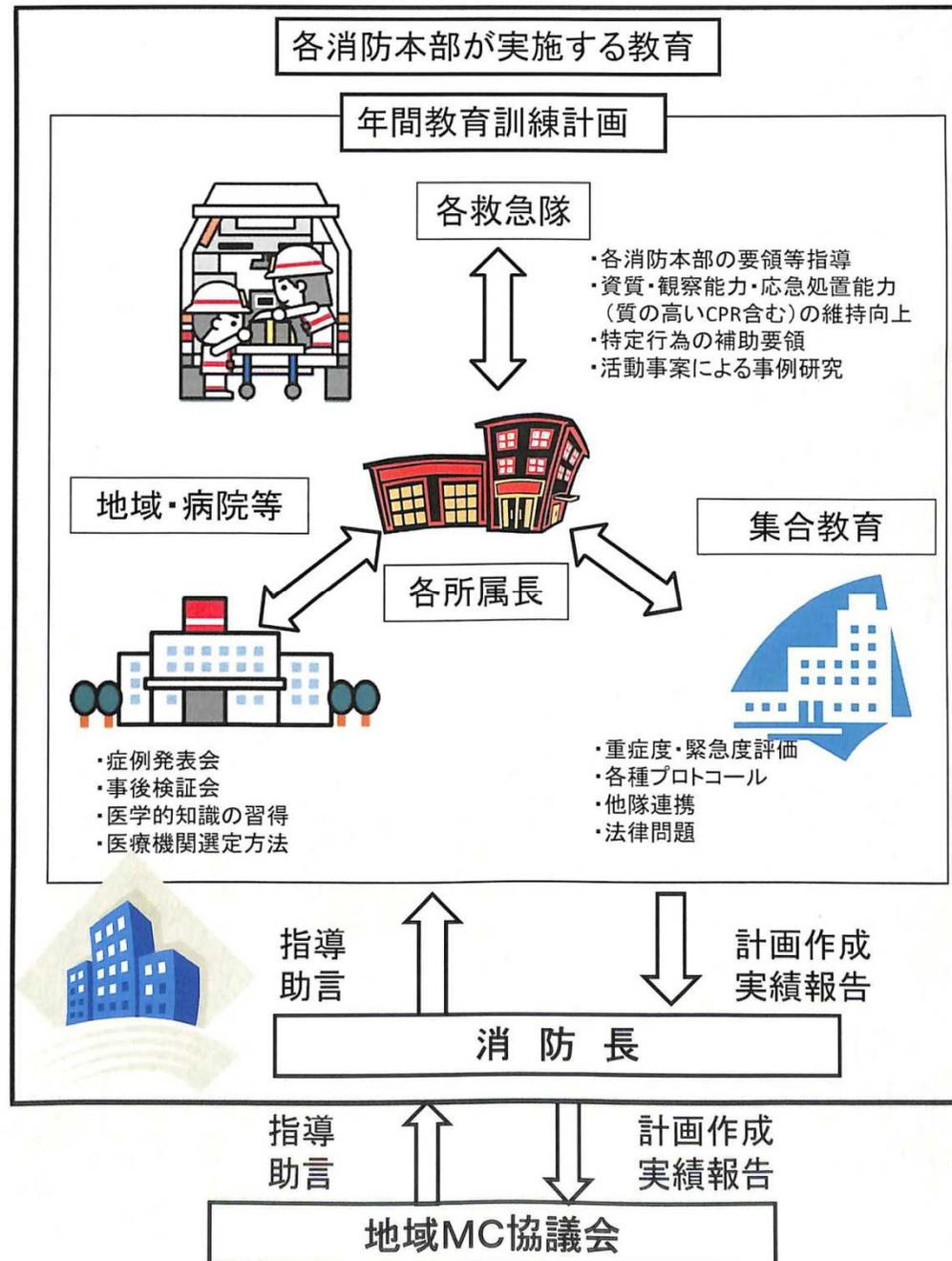


【教育単位一覧表】

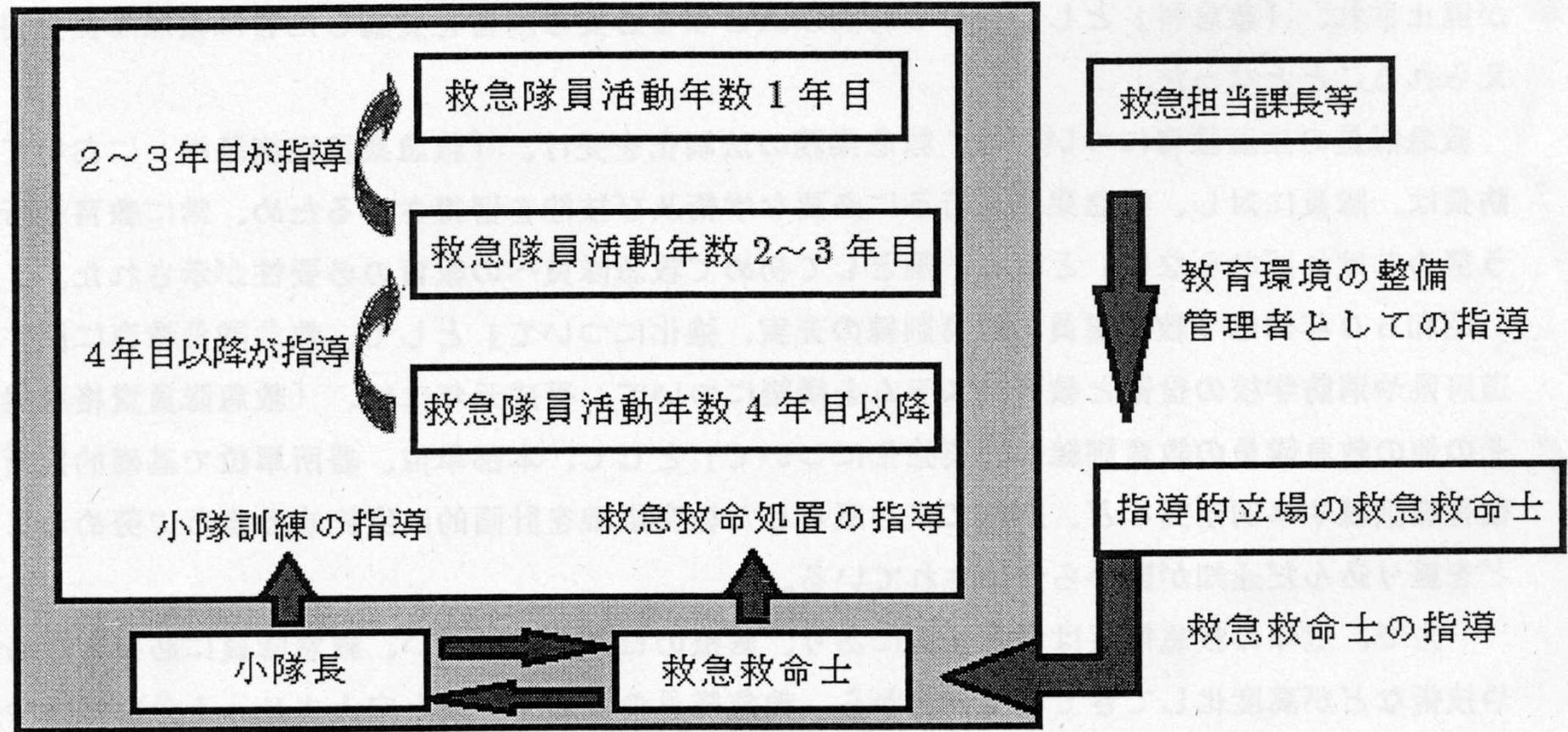
教育項目		ポイント	必須ポイント	最大計上ポイント	様式
就業中再教育病院実習		16/1 当務	48/2 年	80/2 年	1-1
		8/1 日			
ドクターカー・ドクターヘリ同乗実習 * 1		5			1-2
学術集会・研究会 * 2 (全国レベル)	発表・座長	10		10/2 年	1-3
	参加	1/1 時間			同上
学術集会・研究会 * 2 (県・地域レベル)	発表・座長	5	15/2 年	30/2 年	同上
	参加	1/1 時間			同上
症例発表会・研修会 * 3 (消防本部レベル)	発表・座長	3		20/2 年	1-4
	参加	1/1 時間			同上
実技技能教育コース * 4	指導者	10/1 日		20/2 年	1-5
	受講	1/1 時間			同上
論文筆者	筆頭	10		30/2 年	1-7
	共著	5			15/2 年
集合研修	参加	14	14/2 年	14/2 年	1-8
重症傷病者等搬入時研修 * 5		1/1 回		36/2 年	1-9
医師救急自動車同乗実習 * 6		1/1 時間			1-10

* 1 就業中再教育病院実習中にドクターカー等に同乗した場合、どちらも単位に含

【岐阜県】救急隊員の教育ガイドラインの考え方



(図表1) 教育体制のイメージ



(図表2) 各隊員レベルにおける教育目標

対 象		救急科 入校中	活動年数 1年目	活動年数 2～3年目	活動年数 4年目以降	小隊長 救命士
目 標		学校教育	指導を受けながら実践力を身につける	プロトコールに沿った活動が実践できる	後輩育成、指導者としての役割が果たせる	救急救命処置管理 現場における問題解決と小隊管理
基礎的 能力	実践力		手技を補助する	自ら手技を行える	自ら手技を行え、部下に対して指示する	
	能力		チームの役割が果たせる	チームの役割の理解と自らの役割が果たせる	小隊長を補佐し自らの役割が果たせる	
法的知識等			接遇要領 公務員倫理	安全管理・リスク管理 事後検証票の作成能力 要綱・要領の習熟 事故発生時の対応能力	活動年数 1～3年目に あげる法的知識 その他の法的知識	

処置拡大にむけた講習計画

			平成26年度		平成26年度	平成27年度以降運用開始 (*6)
			①集合研修		追加講習(岐阜県以外)	
追加講習カリキュラム			内容: 処置拡大追加講習 カリキュラム (8/24時間) 開催場所: 各圏域で実施(12回)	内容: 処置拡大追加講習 カリキュラム シナリオ訓練 開催場所: 木澤記念病院 中津川市民病院	財団法人において追加講習実施済	
			講義部分 中項目 ①~⑨	実習部分 中項目 ⑮⑯		
1	既存救命士(*1)	指導者救命士	○			一部(*7) ○
		指導者救命士以外	○			—
2	実証研究参加救命士【東濃地域48名】(*2) (48名中、6名は指導者救命士)		○	○		○
3	平成26年度 九州研修追加講習所修了者【9名】(*3)		○		○	○
	平成27年度以降 九州研修所追加講習修了者(*4)		○			—
4	平成27年度以降 東京研修所追加講習修了者(*5)		○			—
5	上記以外の救命士		○			—
6	平成27年度以降新規救急救命士 国家試験合格時点で処置拡大部分受講済					—
備考					①をもって岐阜県で運用するための担保とする。	

処置拡大にむけた講習計画

	第 1 限 9:30～10:20	第 2 限 10:30～11:20	第 3 限 11:30～12:20	第 4 限 12:50～13:40	第 5 限 13:50～14:40	第 6 限 14:50～15:40	第 7 限 15:50～16:40	第 8 限 16:50～17:40
集合研修	救急救命処置 の変遷・傷病 者への説明・プ ロトコールの理 解	糖尿病及び低血糖の病態と治療 (講義内で34分のDVD使用)			ショックの病態と治療 (講義内で35分のDVD使用)			
		MC教育 医師						
処置拡大 追加講習	メディカルコン トロールと救急 救命処置	静脈路確保と 輸液 に関する基本 的手技 (実科)1	(実科) 心肺停止前の静脈路確保と 輸液のシナリオ訓練 6					
	MC教育 医師	MC教育 医師・ 指導的立場の救命士						
	学科効果測定	血糖測定に関 する 基本的手技 (実科)1	(実科) 血糖測定と低血糖発作症例への ブドウ糖溶液の投与のシナリオ訓練 6					
	学校教官	MC教育 医師・ 指導的立場の救命士						